

## KTCの近況

2021-3-20

白岡克之

- (1) コロナ感染拡大により「きらりと光る優良企業」(企業説明会)などのイベントが中止になったりしたが、2020年6月からは、理事会、企画委員会、学内講演会などの各種イベントはzoomによるオンライン会議やWeb配信などで予定通り活動をしている。
- (2) コロナ感染拡大により学生の海外研究発表費用支援、外国大学の学生受入費用支援などが無くなり、支出が予算より約294万円減少の予定です。(決算試算中)
- (3) 1年生入会状況 機械工学科 70.9%(73人/103人)工学部 63.46%(363/572人)  
昨年から入会者1人当たり¥2,500の入会協力金を各単位クラブに交付することになっている。機械クラブには73人分¥182,500が交付される。
- (4) KTCの就職支援の中で、(就職相談、OB・OG訪問)はコロナ対策を考慮しながら対面式およびリモートで個人対応している。(キャリアセミナー)はzoomによるオンライン会議方式で、ブレイクアウト機能を活用しOB・OGとグループディスカッションを行った。2020年10月~12月に13回業種別に開催した。(きらりと光る優良企業)は2021年2月27日~3月2日(4日間)合計164社の企業説明会を開催した。従来の対面式で企業41社 学生約45名、zoomによるオンライン方式で企業123社 学生約920名参加した。オンライン方式ではまずまずの学生の参加であったが、対面式は参加が非常に少なかった。オンライン方式と対面式を同時に開催したことで、オンラインで参加した学生が、対面式の六甲ホールの会場に出掛けなかったのが大きな理由と思われる。今後はオンライン方式と対面式とは分離して開催する必要が有る。
- (5) 工学部100周年記念事業に対する寄付検討チーム委員会が立ち上がった。メンバーは工学研究科長、塚田理事長、藤村常務理事、各単位クラブから1~2名合計12名で構成されている。寄付金をどのようにして集めるのか、学校はどのような事業にするのか、KTCはどのような事業に応援するのか、基金運用出来ないか、などまだ何も決まっていないので、1年ほど掛けて検討していくことになった。学校の目標額は2~3億円が考えられているが、KTCの基本財産は235百万円 会館引当金35百万円である。会館引当金を取り崩す方向で予算枠取り検討中。
- (6) 卒業式、入学式は人員を絞って挙行される模様。KTCの社員総会は現時点では開催出来るという前提で5月21日楠公会館にて開催することですすめている。

以上